

平成 29 年度

園長だより NO.15 【H29.10.3】

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



新任園長は見た! 「園庭de運動会」の全て!

9月28日木曜日。小運動会。附属幼稚園自慢の園庭も、運動会をするには少々狭くて使い辛いかと思われましたが、そんな心配は杞憂でした。予想をはるかに超えるギャラリー（保護者の方々）に囲まれ、本番さながらの雰囲気の中、子どもたちが園庭の空間を上手に使って演技したり、木を縫うように走る姿にびっくり!やはりいつも過ごしている園庭だからこそその安心感があり、子どもたちは少々の不便や不都合も気にせずのびのびとできるのだらうと思えました。これもまた本園の「個性」と言えるのかも知れません。



これまで先生方は、子どもたちの育ちの実態と、運動会を通して育てたい姿とのギャップを慎重に見極めながら、子どもたち自身が「遊び」の発展や延長線上に競技や演技を生み出していけるようにと「環境の構成」と「援助のしかた」を工夫してきました。私は、毎日練習の様子を見せてもらいましたが、年齢に応じたそれぞれの成長が日ごとに見えて実に面白いと感じました。本番では是非、「目に見える」姿の背後にある「目に見えない」姿、つまり今日に到る「道のり」に思いを馳せ、一人一人の「目の輝き」にご注目下さい。多くの方のご参観をお待ちしています。*当日は至らぬ点もあろうかと思いますがご容赦下さい。

子どもたちの差し出す宝

実習生は、実習の中で多くの「宝」を子どもたちからもらう。いや、そのチャンスをもたう。「なぜ、予想通りに〇〇してくれなかったのか。」「何が足りなかったのか。」「こう自分自身に問いかけられるかが、「宝」を掴めるかを決める。子どもたちの差し出す宝は、大きさも値打ちもそれぞれだ。自分の予想の端つこの隅つこの子が差し出す「宝」ほど自分にとっての値打ちは高い。確かに受け取り、磨いて光らせて、大事に持っていて欲しい。



※本園は、貴重な幼児教育の実習現場です!

見ないで! 観て!

「見る」と「観る」は違いますね? 運動会では是非、「観る」ことをお勧めします。表現している子どもの心とつながれて、涙するほどに感動できるのは「観る」方です。気をつけたいのは、記録のためのカメラやビデオ撮影。ファインダー越しでは決して「観る」ことはできないでしょう。

両手フリーで、沢山の拍手を何度でも! ヨロシク!